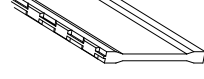
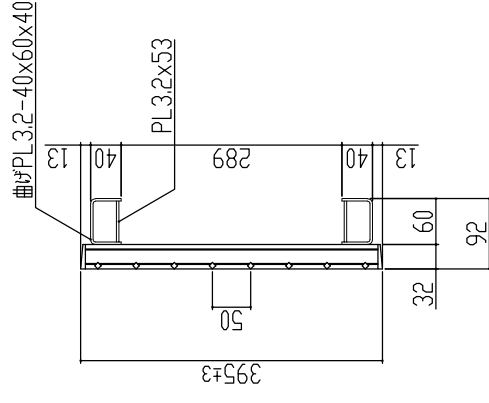
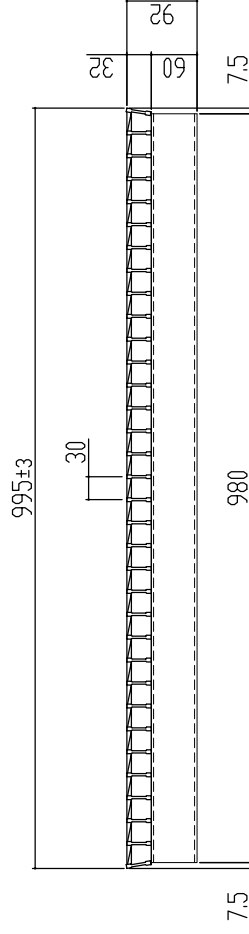


⇄ 車輛進行方向 (側溝) ⇄



本体重量 26.2kg

主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正番	検査 山口	承認印 平元	検査 山口	製図 松本	図名 T-14 LNV95-325-395TX	図番 MKG-L-309-2	
	訂正者 承認印	承認印 平元	検査 山口	製図 松本	かさ上げ自由勾配側溝用 (ハイテン) グレーチング 溝幅300用 並目ノンスリップ	株式会社 マキテック MK駐輪事業部	
	訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正番	訂正者 承認印	承認印 平元	検査 山口	製図 松本	表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)	株式会社 マキテック MK駐輪事業部
	訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正番	訂正者 承認印	承認印 平元	検査 山口	製図 松本	図番 MKG-L-309-2	株式会社 マキテック MK駐輪事業部

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNVS95-325-395TX
	製品寸法	395x995x32+60
	主部材	I-5 × 3 × 32
	断面係数	Z = 0.794 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 289
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。			
	$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より			
	$\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 30 / 100000$			
	$\omega = 16.80$ (N/mm)			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。			
	$M = \omega \times L \times L / 8$ より			
	M = 175394.1			
	M = 175,394 (N・mm)			
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。			
	$\sigma_b = M / Z$ より			
$\sigma_b = 175,394.1 / 794.000$				
$\sigma_b = 220.90$ (N/mm ²)				
従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm ²) に対し、				
<u>220.90 (N/mm²) \leq 320 (N/mm²)</u>				

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--